



サブハーネス自体を引つ張る新手法が「エウレカ2」に波及

前号の「ゴトに勝つ48」でお伝えしたオリンピア「パチスロラブ嬢」を狙ったセルゴトの新手法ですが、8月に入ってサミー「パチスロ交響詩篇エウレカセブン2」でも同様の手法でセルゴトが発生したとの情報が入りました。

「パチスロ交響詩篇エウレカセブン2」を狙ったセルゴトの過去の手法は、液晶左にあるスピーカー

からセルを挿入し、そのセルをサブハーネス（主基板とサブ基板を繋ぐ配線）の主基板側のコネクタに接触させ、不正コマンド（小役情報等）を送信することによりAT（擬似ボーナス含む）の誘発、セツト数やゲーム数（獲得可能枚数）の上乗せ等を狙うというものでした。

現在は、対策を突破する新しい手法としてエンターライズ「モンスターハンター月下雷鳴」やオリンピア「パチスロラブ嬢」で被害が発生している「サブハーネス自体」を狙うという方法で「パチスロ交響詩篇エウレカセブン2」が

襲われているのです。

手口としては、筐体左側面にゲタ（導入板）を噛ませて大きな隙間を作り、その隙間からサブハーネスを引き寄せてセルを接続するという方法で、セルの接続後は過去のセルゴト同様にコマンド送信機を接続してART/ATの誘発や継続を行うものと推測されます。

引つ張りすぎて液晶画面が消灯したあわててゴト師ら退散

ある店舗での被害事例ですが、

営業中に理由もなく液晶画面が消灯した台をホールスタッフが発見しすぐさま防犯カメラの録画映像をチェックしたところ、当該台に着席した実行犯と思われる男1人とその台を取り囲む3人の不審な人物が映っていた。

しばらくすると当該台の液晶画面が消灯し、その直後に取り囲んでいた3人と着席していた男の計4人が慌てて退店していく姿が残されておりました。

液晶画面が消灯していた遊技台を確認したところ、筐体外部側面の上段にめくれた様なキズ（ゴト痕跡）と中段にゲタを挟んだと推測されるキズ（ゴト痕跡）が残されており、筐体内部ではサブハーネスが外部から引つ張られて折れ曲がった状態になっていて、あまりに強く引つ張られ過ぎたせいなのかサブ基板側のコネクタが抜けておりました。

そして、このサブハーネスとは別の配線（サブ基板への電源供給配線？）のサブ基板側のコネクタが完全に抜けており、そのために液晶画面が消灯してしまったようです。液晶画面の消灯のおかけでゴト行為は未遂で終わったものと

ゴトに勝つ49 高石隆一

「糸付き」「磁石」「どつき」などローゴトだが「徹底監視」を

思われます。

サミー系各機種は十分な注意が必要 低貸しコーナーでも

今回の「パチスロ交響詩篇エウレカセブン2」の被害発生によって、過去にセルゴトの被害が発生したサミー系スロット各機種においても同様の手口が波及する可能性が高いので注意が必要です。

過去にセルゴトで被害が発生したことのある機種では、サミー「パチスロ攻殻機動隊S.A.C.」、サミー「パチスロ化物物語」、タイヨーエレクトク「パチスロ仮面ライダーUNLIMITED」、銀座「パチスロうる星やつら3」、タイヨーエレクトク「パチスロあしたのジョー2」。

同一筐体なので被害波及が懸念される機種としては、サミー「パチスロストアイランド」、サミー「パチスロ輪廻のラグランジェ」、銀座「回胴黙示録カイジ3」などがあります。これらの遊技機を設置している店舗におかれましては、十分な警戒をお願いいたします。最近の被害事例では、低貸しコーナーに設置しているから安心とい

エウレカセブン2

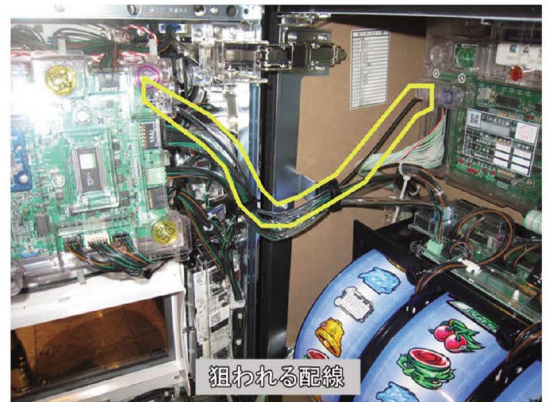


うことは言えませんが、バラエティーコーナーや低貸しコーナーのたった1台の設置であつても注意が必要です。

※一部のサミー系スロットに対しては、セルゴトの対策部品がメーカーから後付部品として提供、または出荷段階から取り付けがされておりませんが、今回お伝えしているこの新機には対応しておりませんので間違えのないようご注意ください。

隙間をテープ等で塞ぐ 配線も結束して防衛 対策には申請も忘れず

対策方法として、ゴト器具を筐体側面より侵入させている事から、筐体側面の隙間をテープや防護板等で塞ぐ、配線を引き出されない



様に配線をインシュロック等で結束するなどの防護が有効と思われるが、遊技台に何らかの物を付加するのであれば、あらかじめ各都道府県公安委員会から許可を受けたもの以外の付加は認められないので注意が必要です。いずれも事前に担当の所轄にご相談の上、必ず適切な届出を忘れずに実施してください。

たとえば、ゴト被害から自店の遊

最近のゴト傾向——パチンコ

いつも新しい手口などの話題を中心にお伝えしておりますが、「最近はどうなゴトに注意したいの？」という質問をよく受けるので、ここ数か月のゴト傾向として、被害発生が多いゴト手口について、

技機を守るためだとしても、許可を得ずに勝手に付加することや付加した後に所轄へ変更届を出すことを忘れていたのでは、無承認の構造変更に変更する

ることになりますので、ホール営業に関わる全てのスタッフに遵法営業の徹底をお願いいたします。

些細なミスや教育不足による勝手な行動で「指示処分」や「営業停止」、また、短期間に同じ違法行為を繰り返かえすなど行為が悪質な場合と判断された時には「営業許可取り消し」にもなるという重大な案件であることに注意して適切な対応をお願いいたします。

今号はパチンコのゴトについてまとめました。パチンコでは「糸付き玉ゴト」や「磁石ゴト」の発生が多く、変わったところでは「油玉ゴト」や「どつきゴト」の被害も散発しております。



玉を羽根に挟める 「糸付き玉」ゴトは 羽根物3機種に狙い

「糸付き玉ゴト」の被害機種としては、「CRAトキオ・デラックスB」「CRAビッグシューターX」「CRA祭りだ！サブちゃん」の羽根物3機種が狙われており、8月に北海道で発生した事案では4人組(男3名・女1名)によって「CRAトキオ・デラックスB」と「CRA祭りだ！サブちゃん」で犯行が行われました。

ゴト被害発見の経緯は「CRAトキオ・デラックスB」でデータ異常(ベース51・9、拾球率9146・8%)を発見したため、モ



糸付き玉を羽根に挟めている状態(羽根が半開きになっている)

ニターで当該台の遊技者をチェックしたところ、糸を操作するような不審な行動があったのでゴトの可能性が高いと判断して、ホールスタッフが盤面チェックに行ったが、店側に警戒されていることに気がついたゴト師らは退店して行きました。

防犯カメラの録画映像を調べてみたところ、男3名が「CRAトキオ・デラックスB」と「CRA祭りだ！サブちゃん」の2機種でそれぞれ糸付き玉を使って犯行をおこなっており、女は見張り役のようだったとのこと。手口としては、打ち出した糸付き玉を羽根に挟めて羽根上に玉を集め、羽根の開放と同時に集めた玉を流し込むことで拾球率を高めて、その結果大当りもしやすくなることを狙っているようです。



機械選ばぬ「磁石ゴト」 短時間に数千発も あなどれない被害に

「磁石ゴト」の被害機種としては、設置率の問題なのか「CRスーパー海物語IN沖縄3」での被害が多い傾向にありますが、「CREV

アンゲリファン9」「CRばちんこキン

肉マン」「CR呪怨」などメーカー問わずいろいろな機種が被害に遭っているところが厄介な状況です。

ある店舗で発生した事例では、役職者による定時のデータチェック時でデータ異常(ベースが異常に高い状態)に気が付き当該遊技台の確認に向かったが、既に遊技者がいなくなったため録画映像を確認したところ、実行役が盤面に手をかざしている様子と実行役の仕込みが終わり打ち子と遊技を交代している様子から磁石ゴトの被害に遭ったと判明しました。

打ち子は特賞が無いにも関わらず出玉8000発を獲得して交換しており、2人組のゴト師による犯行で実行犯の入店から打ち子の退店まで約30分という短時間でした。

磁石ゴトはローテクゴトとは言え、一般入賞口付近に玉掛かり(ブドウ)を作成する手口の場合だと短時間で数千発の被害が発生するケースもあり、油断できないゴト手口です。また、スタート入賞口付近に玉掛かりを作成してスタート入賞口への過剰入賞を狙った手口による被害もターゲットを変えながら継続して発生しているので

注意が必要です。



出玉もさることながら 関連施設まで汚す 「油玉ゴト」は大迷惑

「油玉ゴト」の被害機種としては、「CRAビッグシューターX」と「CRファイバースター・ウォーズ」での被害情報が入ってきており、ゴト被害発見の経緯はいつでも遊技機のガラスを清掃しようとしたところガラスの内部一面に油のような汚れを発見して、録画映像を確認してみると当該遊技機で遊技していた人物が頻繁に左手をポケットに入れ、その手で下皿の玉を上皿に移している姿が残されていました。

「油玉ゴト」は、ポケットなどに仕込んだハンドクリームやグリスなどの油を触った左手で玉を触ることで玉に油を付着させて玉の動き方を変えることを目的としたゴト手口になります。

特に羽根物では油の影響で役物内での玉の動き方が変わることによって特賞確率が高くなることが判明しており、羽根物以外での被害事例が珍しい「CRファイバースタ

「ウォーズ」ではスタート値が上昇していたとのことですので注意が必要です。

油玉ゴトの被害に遭った場合は、出玉による実被害も当然ですが、遊技機からアウトボックス・島循環設備までもが油によって汚れてしまい、それによって関係の無いきれいな玉や様々な設備まで油に汚れてしまうのでとても迷惑極まりないゴト手口です。



「どつきゴト」は進化
「軽く押す」「軽く叩く」
対応難しいので勉強を

「どつきゴト」の被害機種は「CRうちのポチーズRX」で、手口としては役物内へ玉が入った際に特定のタイミングでハンドル(上皿の場合も)をどつくことで大当りを発生させる(V入賞させる)ものです。

当該遊技機には振動センサーが純正で装備されておりませんが、犯行時に左手で遊技台を固定し、グーにした右手でハンドル付近をどつくことにより、純正の振動センサーの感度を落として発報しにくくして犯行をおこなっているよう

なので注意が必要です。

どつきゴト師は、熟練したプロになればなるほど「どつく」から「軽く押す」又は「軽く叩く」に手口が進化していく傾向が見受けられ、それとともに口も達者になっていく可能性があり、対応する役職者の方は相手に言いくるめられないようにしっかりと理論武装をして闘ってください。



羽根物コーナーで見慣れない人物は
まず疑ってかかれ

羽根物に関しては、常連のお客様が中心で遊技するなど客層が固定される傾向にあります。対してゴト師に関しては、当該遊技機の設置店をインターネットで検索して移動している可能性がありますので、犯行は自店に初めて訪れる、見慣れない人物の場合が大半となります。

羽根物などのゴト被害対象機種に関してはインターネットサイト



盤面に手をかざしている瞬間

等の設置店舗検索にヒットしないようにするなどの対策をオススメいたします。

パチンコのゴトの場合は、そのほとんどでベース異常などのデータ異常が発生します。ゴト被害発見の経緯としても、役職者によるデータチェックでデータ異常に気がつくというパターンがとても多いので、定期的なデータチェックの実施の継続と使用されているホールコンで異常数値を通知するアラート設定が可能であれば早急に対応をお願いいたします。

ゴト師が出玉を交換し退店して



どついている瞬間

からゴト被害に気がつくのか、ゴト師が犯行中にゴト被害に気がつくのか、実被害が出るのか未遂で終わらせるか、その気がつくタイミングが被害状況の分かれ道です。いち早く被害に気がつくオペレーションの構築をお願いいたします。

■高石隆一 ■たかいしりゅういち

警備会社の指導員、セキユリティー会社を経て2003年、有限会社ジャパンセキユリティーサービスを設立し代表取締役。札幌方面遊技事業協同組合、札幌遊技業協同組合、札幌遊技業支配人会の顧問を務める。また、パチンコ産業のセミナー講師を数多く務める。北海道警察本部の捜査にも協力している。二期二会が座右の銘。